center medical co-op wakayama和歌山中央医療生活協同組合center medical co-op wakayama

組　織　だ　よ!!　り 2010.1.6 NO117

あけましておめでとうございます

組合員のみなさま

あけましておめでとうございます。昨年は、国民の力で新しい政権を誕生させましたが、国民の期待に応えうる政権運営になっているでしょうか。たとえば後期高齢者医療制度もマニフェストでは高らかに廃止と約束したにも関わらず、最短でも4年先延ばしになりそうです。後期高齢者医療制度は2年ごとに給付と保険料の見直しが義務づけられています。2010年4月は見直しの時期で、新保険料が検討されており、少なくとも全国平均で13～15%の引き上げが必至だといわれています。私たちの要求を実現させるためには、新政権の運営にゆだねるのではなく、私たち自身の運動の力を強めることが新政権を動かす力となることが、ますます明らかになってきました。

09年の医療生協強化月間では、年間目標の80%到達を目標にとりくみ、仲間ふやしでは、749人が加入し、年間目標の約75%到達となりました。出資金は年間目標(1億円)に対して、5800万円(目標比58%)、班会開催は年間目標(800回)に対して588回(目標比73%)、班づくりは年間目標(50班)に対して17班(目標比34%)の到達となりました。(09年12月末現在)

3月年度末に向け、出会い・ふれあい・支えあいで「生協をいのちの分野に活かす」大運動をすすめながら、各地区、各支部が年度末目標の達成向け、協同の力を発揮していただきますようお願いします。

1週間、水だけ飲んで、夜は公園や駅で

西の丸公園で年越相談村

12月28日（月）午前10時～午後3時まで、和歌山城・西の丸広場で「反－貧困ネットワークわかやま」が年越相談村を開催しました。当日は和歌山民医連から、健康相談と健康チェックで協力しました。その中で1名和歌山生協病院2Fに入院になりました。在総センターにいって生保申請。11月に飯場（土方の仕事の宿舎）から追い出された54才の男性です。泉佐野から和歌山まで歩いてきたそうです。当時3万円程持っていたお金も相談日には、400円。この一週間水だけ飲んで夜は公園や駅で寝ていたが、寒くて寝られないと。相談村の衣類や靴を支給。たまたまパチンコ屋の休憩所いてあったビラを見て相談に来られたそうです。夜生協病院に見舞いに行くと2F病棟の皆さんにお風呂に入れてもらいきれいになって安心した様子でした。しかし血糖値が570、ヘモグロビンA1c14．3でした。　当日は、60名の方に何らかの相談や援助ができました。ボランティアの参加は70名でした。衣類や物品の寄付や募金も寄せられました。

NHKの夕方の和歌山のニュースでも紹介されました

仕事や住まいを失った人などを対象に、健康や生活の相談に乗ったり、食事を提供したりする「年越相談村」は、労働組合や弁護士などで作る市民グループが開いたもので、失業中の人たちやホームレスの人たちなどが、朝から相談に訪れました。会場では、弁護士が生活の相談に乗ったり、病院のスタッフが健康相談に応じたりしました。このほか、ホームレスの支援団体が、豚汁やコロッケなど150人分の炊き出しの食事や、冬用の暖かい衣服を配りました。主催した市民グループによりますと、相談の後ですぐに生活保護の申請に行ったり、年末年始の緊急の宿泊先としてカプセルホテルを無料で紹介したりすることも可能だということです。訪れた男性は「寒くなってきたので、暖かい洋服がもらえてありがたいです」と話していました。相談村を開いた「反－貧困ネットワークわかやま」の由良登信代表は「きょうは仕事納めなので、生活に困っている人たちは、年が明けるまで役所などに相談することができなくなります。住むところや仕事がない人たちが生きるために必要なことを、なんとか手助けしたいです」と話していました。

2009年度仲間ふやし状況

	東地区			中地区			南地区			河西地区			那賀地区			海南海草地区			その他			計		
	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残
4/1～12/31	500	431	69	100	28	72	100	90	10	100	80	20	100	38	62	70	60	10	30	22	8	1000	749	251
1/5～																								